

1. 準備

（製品名・機種型番等は、現時点でバイオバンクが採用しているものを提示している）

- バキュティナ採血管®（血清分離剤入り）5 mL（日本ベクトン・ディッキンソン）またはインセパック®II-D（凝固促進剤/分離剤入り）5 mL（極東製薬工業）
- 1.0 mL 2Dバーコード付チューブExternalキャップ（FCR & Bio または ワケンビーテック）
- 1.0 mL 2Dバーコード付チューブExternalキャップ対応フリーズボックス196穴（14×14）（FCR & Bio または ワケンビーテック）



バキュティナ採血管®（血清分離剤入り）5 mL
（日本ベクトン・ディッキンソン）
または
インセパック®II-D（凝固促進剤/分離剤入り）5 mL
（極東製薬工業）



1.0 mL 2Dバーコード付チューブ
Externalキャップ
（FCR & Bio または ワケンビーテック）

2. 採血と分離（臨床検査部での作業）

- 2-1. 準備した採血管に採血した後、37℃（ヒートブロック）で15分～50分間静置。
- 2-2. 室温で2,330～2,360×g、5分間遠心分離。
- 2-3. 冷蔵庫に一時保存（保存時間は個別検体情報として記録）。

3. 分注（バイオバンク試料調整室での作業）室温（12℃～28℃）

- 3-1. 保存している血清をバイオバンクに移送（on ice）。
- 3-2. 検体番号ラベルを貼ったチューブに（300 μ L/tube）分注。

4. 保管 室温（12℃～28℃）

- 4-1. チューブはフリーズボックスに並べ、超低温（-80℃）フリーザーで保管。
- 4-2. 検体管理システムに検体情報を入力。

➤ 採取～超低温（-80℃）フリーザーでの保管は24時間以内に行う。